

- **自宅でできる寄付ボランティア** → 現在、次の物品を必要としています。ご自宅に眠っている物品がありましたら、ぜひ寄付をお願いします(寄付金も歓迎いたします)。

◆路上生活者のための日用品◆

タオル(今一番不足している)、夏物の衣類(洗濯済みのズボン、Tシャツ)、ベルト、新品下着(トランクス型)、靴下(25-27cm)、運動靴(25cm、25.5cm、26cm、26.5cm、27cm)、スポーツバッグ(キャリーつきバッグでも構いません)、帽子(野球帽)。自転車(防犯登録つきの中古。無いと警察に職質されるので。)

* 現在、女性のホームレスの方が少ないので、女性用のものは不要です

◆食料◆

お米、缶詰、即席カップ麺、レトルト食品、カレールー、日持ちする野菜(かぼちゃ、ジャガイモ、たまねぎ、だいこん、にんじん)など。

(用途) 主として、くつろぎ入浴サービス、路上に定住し自炊している人、路上脱却直後の人のために使います(現物給付なので借金になりません)。

※この他の物品の寄付については、事務局にご相談いただけると幸いです。

- **くつろぎ・入浴サービスのボランティア募集 (参加のご希望は事務局までご連絡ください)**

現在、第1～3金曜日 12:30～19:00 ※このほか月1回土曜日午後を試行中。

- **夜回り巡回活動ボランティア募集 (参加のご希望は事務局までご連絡ください)**

広島(2週間に1回)、呉(毎月1回)、福山(毎週)で、定期的にボランティア団体が行っています。

- **寄付いただいたものは次のように使わせていただきます**

◆路上脱却した人のために◆

炊事道具一式(包丁、まな板、鍋、フライパン、炊飯器、砥石)、食器一式(茶碗、箸、スプーン、フォーク、ナイフなど、使えるものをお願いします)、水屋、食卓・ちゃぶ台、扇風機、電気コタツ、洗濯機、TV、洗濯石鹸、布団(干して使えるもの)など必要なものを差し上げています。

アルバイトなど働いて1ヶ月に始めて日給月給が貰えるので最初の1ヶ月はまったく運転資金がありません。必要な小口資金は貸しますが、彼らの借金になり、後日返済の義務が生じるので、生活基盤を作ってもらうためにも、しばらくは現物を差し上げて余り現金を消費しないように支援しています。

◆寄付金の使い方◆

①「就職活動に必要な寄付金」:

面接に行く時の小口の交通費、就職活動に必要な連絡先用として貸し出すプリペイド携帯購入代、電池補充代金、通勤に必要な当座の小口現金

②「自立生活支援基金」:

給料までの生活費などのために貸付けるための基金です。給料が入れば計画的にゆっくりと返金した貰う仕組みです。

○詳細: ホームレス支援委員会委員会 斉藤、鈴木、米澤、岡崎(広島)、鳥海(福山)、坂田(呉)に聞いてください。

- 事務局: 県社会福祉士会 (TEL:082-254-3019, E-Mail: hacsw@ce.wakwak.com)